

エコアクション21

環境活動レポート

2023年度

(対象期間:2023年7月～2024年 6月)



発行日:2024年7月31日

有限会社 丸水工業

目 次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲	1
3. 実施体制	2
4. 環境経営方針	3
5. 環境経営目標	4
6. 環境活動計画	5
7. 環境目標の実績	6
8. 環境活動計画の取組結果と その評価、今後の取組内容	7
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	9

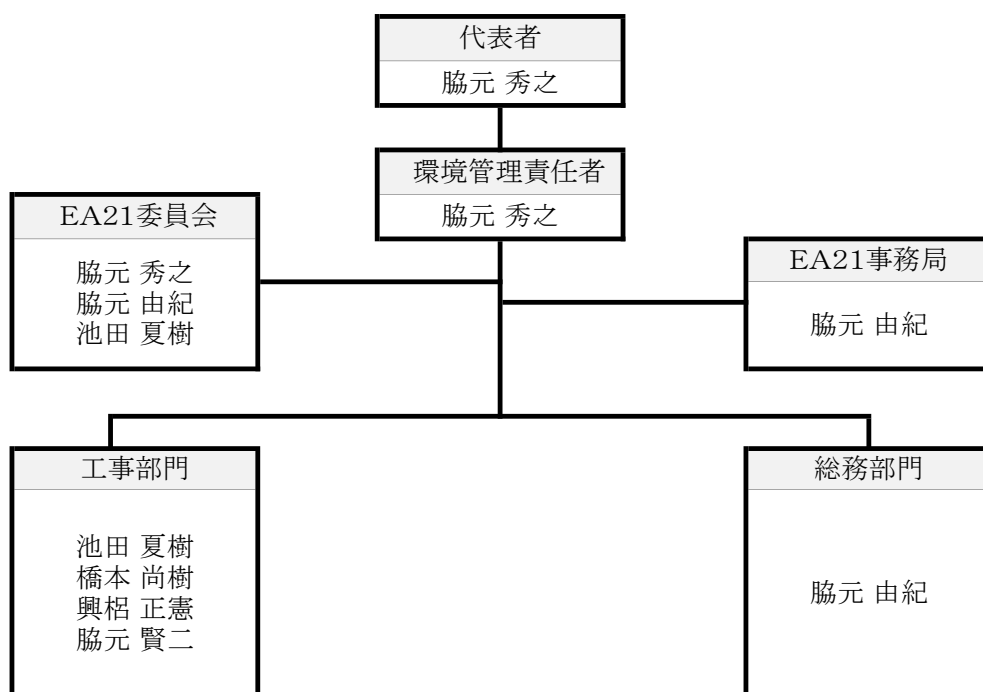
1. 組織の概要

- 1) 事業所名 有限会社 丸水工業
代表者氏名 代表取締役 脇元 秀之
- 2) 所在地 本 社 〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井3253-7
資材庫・駐車場 〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井3253-4
- 3) 環境管理責任者
連絡担当者 脇元 由紀
連絡先 TEL 0982-72-5713 FAX 0982-72-5716
Eメールアドレス soumu@marusui.biz
- 4) 事業の内容 建設業(水道施設工事業、管工事業、土木一式工事業、とび・土工工事業)
・建設業 宮崎県知事許可(般-5) 第 10935 号
- 5) 事業の規模
- | 区分 | 単位 | 本社 | 資材庫 | 駐車場 |
|------|----------------|----|-----|-----|
| 従業員数 | 人 | 9 | 0 | 0 |
| 延床面積 | m ² | 63 | 156 | 162 |
- 6) 事業年度 7月～翌年 6月

2. 認証・登録の対象範囲

- 1) 対象事業所 本社、資材庫・駐車場
- 2) 対象活動 建設業(水道施設工事業、管工事業、土木一式工事業、とび・土工工事業)

3. 実施体制



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表者	- 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ - 環境方針を作成・見直し、従業員に周知する - 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する - 環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する - EA21の取組状況に関し全体評価し、見直しを指示する - 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	- EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる - 毎年、環境目標、環境活動計画を見直し・作成する - EA21委員会を毎月主催して、取組状況の確認・評価を行う - 上記の結果を代表者に報告する - 記録の廃棄を指示する
EA21委員会	- 毎月開催し、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を確認すると共に、四半期毎に評価する。 - 問題点が発生した場合は、原因を究明して必要な是正処置を検討する。
EA21事務局	- 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う - 社外からの環境情報の収集と伝達を行う - 記録の保管は3年とする
工事部門 総務部門	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

4. 環 境 経 営 方 針

基本理念

有限会社丸水工業は、長年の水道施設工事を通じて築き上げた経験と、信頼される技術、品質をモットーに、安全で快適な生活環境のインフラ整備を行い、今後も社会的信用を高めながら地域社会に貢献していきたいと考えています。

そのためには、当社の事業活動や私たち人間活動の基盤である地球環境の保全が極めて重要であることを基本認識とし、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、限りある地球資源の有効利用等を事業経営の重要な柱として位置付けました。

これからは、全社員が一丸となって自主的・積極的に環境への取組を進め、環境貢献企業として社会から高い評価と信頼が得られるよう、人材を育成し、地域とコミュニケーションを図りながら環境経営に取り組んでまいります。

行動指針

1. 環境経営システムを構築・運用し、定期的に見直し、継続的な改善を図りながら、次の重点項目に取り組みます。
 - (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 廃棄物排出量の抑制とリサイクルを推進します。
 - (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
 - (4) グリーン購入に努めます。
 - (5) 質の高いインフラ工事(水道施設工事等)を行い、生活環境の向上に努めます。
 - (6) 地域の環境保全活動には積極的に参加します。
 - (7) 毎年、環境への取組は環境活動レポートにとりまとめ、広く外部にも公表します。
2. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
3. 上記の行動方針については、全社員に周知徹底します。

制定日 2018年10月31日

有限会社 丸水工業
代表取締役 脇元 秀之

5.環境経営目標

- ・環境目標は、当社の事業活動を踏まえて、2022年度～2025年度までの中期目標として、以下の5項目15目標をサイト区分(事務所、現場、全社)して設定しました。
- ・主要な環境負荷である二酸化炭素排出量については、過去3年間(2019年7月～2022年6月の平均値)を基準に、毎年1%ずつ削減し、2025年度までに4%削減を目指します。
- ・事業活動で取り組む本業目標については、「工事評点の向上」を掲げ、全社をあげて取り組んで環境経営を推進していきます。

環境目標	サイト区分	単位	基準値 過去3年間の 実績の 平均値	中期目標				
				2022年度 (1%削減)	2023年度 (2%削減)	2024年度 (3%削減)	2025年度 (4%削減)	
			2019年7月～ 2022年6月	2022年7月～ 2023年6月	2023年7月～ 2024年6月	2024年7月～ 2025年6月	2025年7月～ 2026年6月	
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	※ 50,679	49,959	49,452	48,948	48,441	
①電気使用量削減	事務所	kWh	5,326	5,273	5,219	5,166	5,113	
	現場	kWh	142	141	139	138	136	
②ガソリン使用量削減	事務所	ℓ	3,305	3,272	3,239	3,206	3,173	
	現場	ℓ	4,327	4,284	4,240	4,197	4,154	
③軽油使用量削減	現場	ℓ	11,514	11,399	11,284	11,169	11,053	
④灯油使用量削減	事務所	ℓ	147	146	144	143	141	
	現場	ℓ	23	23	23	22	22	
2. 廃棄物排出量の削減								
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	463	458	454	449	444	
②産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	% (リサイクル率)	100	100	100	100	100	
3. 水使用量の削減	事務所	m ³	44	44	43	43	42	
4. グリーン購入の推進	事務所	品数 (事務用品)	年間購入数 10品目以上	年間購入数10 品目以上	年間購入数10 品目以上	年間購入数10 品目以上	年間購入数10 品目以上	
	現場	% (再生資材調達割合)	再生資材調達 割合25%以上	再生資材調達 割合25%以上	再生資材調達 割合25%以上	再生資材調達 割合25%以上	再生資材調達 割合25%以上	
5. 企業価値を高める取組の推進								
①工事評点の向上	現場	点 (工事評点の年平均値)	86	満点以上	満点以上	満点以上	満点以上	
②地域ボランティア活動への参加	全社	回 (地域ボランティア活動)	3	3以上	3以上	3以上	3以上	

備考) ・購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.480kg-CO₂/kWh(九州電力(株)2020年度調整後)を使用した。

- ・()内の数値は、基準年(2019年7月～2022年6月の平均値)に対する削減率を示す。
- ・化学物質使用量については使用実績がないので除外した
- ・サイト区分の全社とは、事務所+現場を示す。

※基準値の二酸化炭素排出量は、購入電力の二酸化炭素排出係数0.463kg-CO₂/kWh(九州電力(株)2017年度調整後)を使用しているため、中期目標の削減割合とは誤差があります。

6. 環境活動計画

・環境目標を達成するため、以下の具体的な取組(活動項目)を設定して、全社員で取り組みました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト 区分	責任者	具体的な取組(活動項目)	担当者	スケジュール
①電気使用量の削減	事務所	脇元由紀	1. 本社事務所の室温は、冷房期28℃、暖房期20℃とし、エアコンで調節する	脇元由紀	冷房期：5～9月 暖房期：11～3月
			2. 冷・暖房期は、窓ガラスの内・外に日よけを設置する		
			3. LED照明や省電力照明機器への転換を検討する		通年
			4. 退社時に、パソコン・プリンターのコンセントを抜く		
			5. 電気スイッチに節電シールを貼る		
	現場	池田夏樹	1. 現場事務所の室温は、冷房期28℃、暖房期20℃とし、エアコンで調節する 2. 退社時に、パソコン・プリンターのコンセントを抜く 3. 新規入場者教育で協力会社に節電協力を要請する	橋本尚樹	冷房期：5～9月 暖房期：11～3月 通年
②ガソリン使用量の削減	事務所	脇元秀之	1. エコドライブ10のすすめ(ふんわりアクセルeスタート、アイドリング・ストップ、空気圧点検等)を遵守する 2. 不用品を車両から降ろして整理整頓・掃除をする 3. エアコンの風量を極力小さくする	脇元秀之	通年
	現場	池田夏樹	1. エコドライブ10のすすめ(ふんわりアクセルeスタート、アイドリング・ストップ、空気圧点検等)を遵守する 2. 不用品を車両から降ろして整理整頓・掃除をする 3. 折り返し運行をしない	池田夏樹	通年
	現場	池田夏樹	1. エコドライブ10のすすめ(アイドリング・ストップ、空気圧点検等)を遵守する 2. 建設機械の回転数を適正化する 3. 現場規模に合った重機を使用する	橋本尚樹 工藤勝之	通年
③軽油使用量の削減	現場	池田夏樹	1. 本社事務所の暖房温度は20℃を目安に、石油ストーブの温度調整を行う 2. ウォームビズを行う	脇元由紀	暖房期:11月～3月
	現場	池田夏樹	1. 現場事務所の暖房温度は20℃を目安に、石油ストーブの温度調整を行う 2. 不在、不要箇所は石油ストーブの運転を切る	橋本尚樹	暖房期:11月～3月

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト 区分	責任者	具体的な取組(活動項目)	担当者	スケジュール
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	脇元由紀	1. 資源ごみと燃えるごみを分別して、重量を計測し記録する 2. 裏紙使用を徹底し、コピー用紙の使用量を削減する 3. 資材梱包材の業者に持帰りを依頼する	脇元由紀	通年
②産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	池田夏樹	1. 現場における廃棄物の分別を徹底する 2. 現場代理人は manifests の管理を確実に 3. こまめな資材発注により、残材を防止する	橋本尚樹	通年

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト 区分	責任者	具体的な取組(活動項目)	担当者	スケジュール
①水使用量の削減	事務所	脇元秀之	1. 日常の節水・漏水の定期点検を行う 2. 水栓に節水コマを使用する 3. 蛇口の近くに節水シールを貼る	脇元秀之	通年
	現場	池田夏樹	1. 重機の泥はこまめに落とす 2. 蛇口の先にストッパーをつける	池田夏樹	通年

4. グリーン購入の推進

取組目標	サイト 区分	責任者	具体的な取組(活動項目)	担当者	スケジュール
①グリーン購入の推進	事務所	脇元秀之	1. 事務に使用するグリーン購入商品をカタログ・仕様書で確認して購入し、記録する 2. ハイブリッド車や低燃費車等、低公害車への乗り換えに取り組む	脇元由紀 脇元秀之	通年
	現場	池田夏樹	1. 現場で使用するグリーン購入商品・資材(再生品等)をカタログ・仕様書で確認して調達して、記録する	橋本尚樹	通年

5. 企業価値を高める取組の推進

取組目標	サイト 区分	責任者	具体的な取組(活動項目)	担当者	スケジュール
①工事評価点の向上(満点以上)	現場	池田夏樹	1. 設計図書を精査し、資材、工法等でコスト削減の提案を行う 2. ごみの分別、再生資源の利用等、資源に配慮した創意工夫や現場事務所廻りの清掃、花壇の設置等、環境に配慮した創意工夫を行う	橋本尚樹	通年
②地域ボランティアへの参加	全社	脇元秀之	1. 地域への環境ボランティア活動には積極的に参加する 2. 会社周辺、現場事務所周辺の清掃活動を行う	脇元秀之	通年

7. 環境目標の実績

- ・2022年度から目標の値を過去3年間の平均値(2019年7月～2022年6月)を基準とし、基準値の－2%を今年度の目標に設定しました。環境目標達成状況は以下のとおりで設定した環境目標5項目15目標のうち、活動計画の内容に変更があったものはなく前年度の取組と同じ内容での実施となりました。
- ・二酸化炭素排出量の削減項目では目標達成率118%と目標達成となり満足しています。
①電気使用量削減の現場では78%で未達成となっています。未達成となった要因は現場事務所設置期間が例年より2か月程長くなったためだと推測されます。②ガソリン使用量削減事務所では80%で未達成となっています。この理由は現場で使用していたガソリン車を1台事務所使用に変えたための結果です。④灯油使用量削減現場では58%で未達成となっています。この理由も①で説明したとおり現場事務所の設置期間が長くなったためです。もともと灯油の使用量は少なく、今後削減項目の記載の有無も検討していきたいです。今回の大きな変化は③軽油の使用量が目標達成となっているところです。毎年度二酸化炭素の排出量の削減で全体の達成率を大きく下げていた項目なので今年度の達成は意味のあるものだと思います。
- ・廃棄物排出量の削減ではほぼ前年度と変わらず現状維持の状態です。
- ・一般廃棄物とグリーン購入については、目標を大きく上回り、満足のいく結果となりました。
- ・本業目標とした「工事評点の向上、地域ボランティア活動への参加」については、工事評価点がつく工事が2ヶ所あり、満点+1点と+3点の現場で平均+2点となりました。なかなか満点以上を取ることが難しく、非常に満足できる結果になりました。地域ボランティア活動への参加は目標3回以参加でき目標達成できました。

環境目標	サイト 区分	単位	2023年度 (2023年7月～2024年6月)			
			目標 ※1	実績	目標 達成率 ※2	目標 達成評価 ※3
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	49,452.00	41,942.88	118%	○
①電気使用量削減	事務所	kWh	5,219	4,669	112%	○
	現場	kWh	139	179	78%	×
②ガソリン使用量削減	事務所	ℓ	3,239	4,033	80%	×
	現場	ℓ	4,240	3,296	129%	◎
③軽油使用量削減	現場	ℓ	11,284	8,614	131%	◎
④灯油使用量削減	事務所	ℓ	144	116	124%	◎
	現場	ℓ	23	40	58%	×
2. 廃棄物排出量の削減						
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	454	416	109%	○
②産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	% (リサイクル率)	100	99.6 (650.3t/653.1t)	99%	△
3. 水使用量の削減	事務所	m ³	43	49	88%	×
4. グリーン購入の推進	事務所	品数 (事務用品)	年間購入数 10品目以上	12	120%	◎
	現場	% (再生資材調達割合)	再生資材調達割合25%以上	44	177%	◎
5. 企業価値を高める取組の推進						
①工事評点の向上※4	現場	点 (工事評点の 年平均値)	満点以上	満点+2点	102%	○
②地域ボランティア活動への参加	会社	回 (地域ボラン ティア活動)	3 以上	3	100%	○

備考) ※1 2023年度の目標は、2019年7月～2022年6月までの過去3年間の実績の平均値から2%削減として設定した

※2 目標達成率の計算 目標÷実績×100(削減目標の場合)、実績÷目標×100(増加目標の場合)

→:計算不能

※3 評価区分◎:目標達成率≥120% ○:100%≤達成率<120% △:90%≤達成率<100% ×:達成率<90%

→:評価不可

※4 今年度途中より83点満点(今までは85点満点)の工事も発注され始めたため、目標を満点以上、実績を±0点と表記するようにしました

8. 環境活動計画の取組結果とそ評価、今後の取組み内容

- ・2023年度の環境活動計画の実施状況は以下のとおりであり、設定したすべての項目で取組が実施できました、二酸化炭素排出量の削減目標では目標達成率118%で目標達成となりました。
- ・取組は確実に実施できているので、この取組を継続・発展させ、環境目標の全項目達成を目指していきます。

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目	サイト区分	達成状況	2024年度の目標値	達成手段	実施状況	評価と今後の取組
①電気使用量の削減	事務所	○	5,166 kWh	1. 本社事務所の室温は、冷房期28℃、暖房期20℃とし、エアコンで調節する	○	<現状> ・取組内容は特に問題なく、計画通り実施されている。二酸化炭素排出量の削減目標成立が118%と結果に反映している。 <今後> ・このまま現在の取組を継続する。
				2. 冷・暖房期は、窓ガラスの内・外に日よけを設置する	○	
				3. LED照明や省電力照明機器への転換を検討する	○	
				4. 退社時に、パソコン・プリンターのコンセントを抜く	○	
②ガソリン使用量の削減	現場	×	138 kWh	5. 電気のスイッチに節電シールを貼る	○	
				1. 現場事務所の室温は、冷房期28℃、暖房期20℃とし、エアコンで調節する	○	
				2. 退社時に、パソコン・プリンターのコンセントを抜く	○	
				3. 新規入場者教育で協力会社に節電協力を要請する	○	
③軽油使用量の削減	事務所	×	3,206 ℓ	1. エコドライブ10のすすめ（ふんわりアクセルスタート、アイドリング・ストップ、空気圧点検等）を遵守する	○	
				2. 不用品を車両から降ろして整理整頓・掃除をする	○	
				3. エアコンの風量を極力小さくする	○	
				1. エコドライブ10のすすめ（ふんわりアクセルスタート、アイドリング・ストップ、空気圧点検等）を遵守する	○	
④灯油使用量の削減	現場	◎	4,197 ℓ	2. 不用品を車両から降ろして整理整頓・掃除をする	○	
				3. 折り返し運行をしない	○	
				1. エコドライブ10のすすめ（ふんわりアクセルスタート、アイドリング・ストップ、空気圧点検等）を遵守する	○	
				2. 建設機械の回転数を適正化する	○	
⑤灯油使用量の削減	全社	◎	11,169 ℓ	3. 現場規模に合った重機を使用する	○	
				1. 本社事務所の暖房温度は20℃を目安に、石油ストーブの温度調整を行う	○	
				2. ウォームビズを行う	○	
				1. 現場事務所の暖房温度は20℃を目安に、石油ストーブの温度調整を行う	○	
⑥灯油使用量の削減	事務所	◎	1430	2. 不在、不要箇所は石油ストーブの運転を切る	○	
					○	
					○	
					○	

備考) 達成状況区分 ◎: 目標達成率≥120% ○: 100%≤達成率<120% △: 90%≤達成率<100% ×: 達成率<90% -: 評価不可
 実施状況区分 ○: 実行されている △: ほぼ実行されている ×: 実行されていない -: 該当なし



ガソリン使用量の削減



電気使用量の削減

2. 廃棄物排出量の削減

活動項目	サイト区分	達成状況	2023年度の目標値	達成手段	実施状況	評価と今後の取組
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	○	449kg	1. 資源ごみと燃えるごみを分別して、重量を計測し記録する	○	<現状> ・取組自体は問題なく、一般廃棄物の削減が109%と、削減に成功した。 <今後> ・現在の取組を継続する。
				2. 裏紙使用を徹底し、コピー用紙の使用量を削減する	○	
				3. 資材梱包材の業者に持帰りを依頼する	○	
②産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	△	100%	1. 現場における廃棄物の分別を徹底する	○	
				2. 現場代理人はマニフェストの管理を確実に行う	○	
				3. こまめな資材発注により、残材を防止する	○	



一般廃棄物排出量の削減



産業廃棄物のリサイクル率の向上

3. 水使用量の削減

活動項目	サイト 区分	達成 状況	2023 年度の 目標値	達成手段	実施 状況	評価と今後の取組
①水使用量の削減	事務所	×	43m ³	1. 日常の節水・漏水の定期点検を行う	○	<現状> ・事務所での使用量は浄化槽清掃や現場での水圧試験等で若干の変化があるが毎年ほぼ一定している。 <今後> ・現在の取組を継続する。
				2. 水栓に節水コマを使用する	○	
				3. 蛇口の近くに節水シールを貼る	○	
	現場	-	-	1. 重機の泥はこまめに落とす	○	
				2. 蛇口の先にストッパーをつける	○	

備考) 達成状況区分 ◎: 目標達成率 $\geq$ 120% ○: 100% $\leq$ 達成率 $<$ 120% △: 90% $\leq$ 達成率 $<$ 100% ×: 達成率 $<$ 90% -: 評価不可
 実施状況区分 ○: 実行されている △: ほぼ実行されている ×: 実行されていない -: 該当なし

4. グリーン購入の推進

活動項目	サイト 区分	達成 状況	2023 年度の 目標値	達成手段	実施 状況	評価と今後の取組
①グリーン購入の推進	事務所	◎	年間 10品目 以上	1. 事務に使用するグリーン購入商品をカタログ・仕様書で確認して購入し、記録する	○	<現状> ・グリーン購入数は毎年ほとんど変化がない。現場は条件により変化する。 <今後> ・現在の取組を継続する。
				2. ハイブリッド車や低燃費車等、低公害車への乗り換えに取り組む	○	
	現場	◎	調達割合25%以上	1. 現場で使用するグリーン購入商品・資材（再生品等）をカタログ・仕様書で確認して調達して、記録する	○	

備考) 達成状況区分 ◎: 目標達成率 $\geq$ 120% ○: 100% $\leq$ 達成率 $<$ 120% △: 90% $\leq$ 達成率 $<$ 100% ×: 達成率 $<$ 90% -: 評価不可
 実施状況区分 ○: 実行されている △: ほぼ実行されている ×: 実行されていない -: 該当なし

6. 本業に係わる目標をここに示す加

活動項目	サイト 区分	達成 状況	2023 年度の 目標値	達成手段	実施 状況	評価と今後の取組
①工事評価点の向上 (満点以上)	現場	○	満点 以上	1. 設計図書を精査し、資材、工法等でコスト削減の提案を行う	○	<現状> ・工事評価点も満点以上の点数を獲得し、ボランティア活動も3回以上参加できた。 <今後> ・現在の取組を継続する。
				2. ごみの分別、再生資源の利用等、資源に配慮した創意工夫や現場事務所廻りの清掃、花壇の設置等、環境に配慮した創意工夫を行う	○	
②地域ボランティアへの参加	全社	◎	3回 以上	1. 地域への環境ボランティア活動には積極的に参加する	○	
				2. 会社周辺、現場事務所周辺の清掃活動を行う	○	

備考) 達成状況区分 ◎: 目標達成率 $\geq$ 120% ○: 100% $\leq$ 達成率 $<$ 120% △: 90% $\leq$ 達成率 $<$ 100% ×: 達成率 $<$ 90% -: 評価不可
 実施状況区分 ○: 実行されている △: ほぼ実行されている ×: 実行されていない -: 該当なし

グリーン購入の推進



地域ボランティアの参加



9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動に適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
- ・2023年度期間中の事業活動に対して、2024年7月に環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理	○
オフロード法	基準適合表又は少数特例表示の目視確認	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車の引き取り業者への引き渡し	○
浄化槽法	年1回の清掃及び4ヶ月に1回の保守点検 年1回の指定検査機関の水質検査	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の長期使用 機器廃棄時の業者への引き渡し、料金支払い	—
地球温暖化対策推進法	事業活動で排出される温室効果ガス排出量の 抑制のための措置	○
グリーン購入法	事業活動で購入する物品は環境物品を選択する	○
建設リサイクル法	特定建設資材の分別・リサイクルの実施	○

備考) 評価区分 ○:遵守 ×:不遵守 —:該当なし

10. 代表者による全体評価と見直しの結果と次年度の取組

- ・2023年度のエコアクション21運用期間終了後に、代表者による取組状況の全体評価と、計画の見直しの必要性を検討しました。結果は、以下のとおりです。

(1)取組状況の全体評価

- ・環境への取組状況および結果については、とても満足しています。
- ・環境目標であった二酸化炭素排出量削減の取組結果は118%で目標達成となりました。(今年度は新しく設定した基準値の-2%を目標としました。)目標達成の1番大きな要因は軽油使用量の減少だと思っています。それぞれの項目での取組も、確実に成果が現れていますので取組の内容はこのままで継続していきます。
- ・今後も、現在の二酸化炭素排出量の削減取組を継続しながら、新たな取組も模索し、積極的な地域貢献活動を実施していきます。

(2)見直しの結果

- ・今年度の取組は、2023年度(2023年7月～2024年6月)の運用でした、二酸化炭素排出量を基準年度から2%削減を目標に取組み、無事目標達成に至りました。取組目標で特別に見直しをする項目はなくこのまま継続し、データを蓄積して見直しの判断を行います。
- ・今後適用される新ガイドラインの内容も十分に検討し、経営にも貢献できる計画としていきます。
- ・前年度から基準値の見直しをし、過去のデータ(2019年度～2021年度)の平均の値を基準とし、二酸化炭素排出量削減目標を2023年度で-2%、2024年度で-3%、2025年度で-4%に設定しました。

(3)次年度の取組

- ・次年度は現在の取組をそのまま継続し、次年度もエコドライブ10を強化していきます。